

イワウベツ川遡上効果モニタリング中間報告 及び赤イ川の河道変化

資料 4

1. 調査内容

- 遡上・産卵床調査区間は、ふ化場堰堤からピリカベツ川改良ダムから 500m 上流までと、白イ川合流点から 500m 上流まで。
- 8 月調査は潜水調査（サクラマス親魚確認）を併用した。

回数	調査日
第 1 回 (済み)	8 月 27 日～28 日
第 2 回 (予定)	9 月 12 日～13 日
第 3 回 (予定)	9 月 29 日～30 日
第 4 回 (予定)	10 月 15 日～16 日
第 5 回 (予定)	10 月 31 日～11 月 1 日
第 6 回 (予定)	11 月 16 日～17 日
第 7 回 (予定)	12 月 2 日～3 日

調査項目		月					備考
		8月	9月	10月	11月	12月	
サケ科魚類の遡上・産卵状況調査			■	■	■	■	8月から12月まで計7回
河床変化の調査	河川形状調査	■	■				河川縦断測量及び横断測量
	河川環境調査	礫構成	■	■			測量に合わせて1回実施
		水位・流量		■	■	■	■
野生動物の把握			■	■	■	■	現地調査毎
定点撮影			■	■	■	■	現地調査毎

2. 調査結果 (第 1 回調査終了時点)



- カラフトマス親魚は、イワウベツ本流の下流域及び上流域で、計 55 尾を確認した。赤イ川、白イ川でカラフトマス親魚は未確認だった。また、カラフトマス産卵床は全域で未確認だった。
- カラフトマスは 8 月 24 日の降雨（日雨量 43.5mm）時に河口のふ化場堰堤（落差 90cm）を遡ってきたものと推測される。
- サクラマス親魚は、本流上流 2 尾、ピリカベツ川 2 尾の、計 4 尾を確認した。サクラマス産卵床は、本流中流域で 1 床、ピリカベツ川で 3 床の計 4 床を確認した。なお、ピリカベツ川最上流で確認された親魚は産卵床をガードしていた。



イワウベツ川中流域（区間 16）サクラマス産卵床



ダム直下の淵（区間 30）のヤマメ（≒25cm）

3. 赤イ川の河道変化

H25(2013)年11月25~26日の大雨(24時間雨量92mm)及び12月10日(24時間雨量115mm)で、赤イ川では大規模な河道変化が発生した。

①No.12 改良ダム下流 : H21(2009)年改良時に施工した魚道斜路と、H24(2012)年春に(発生した落差解消のために)置いた巨石群が流出した。



H25年11月



H26年8月

②No.12 改良ダム上流 : 左岸の整形法面が洗掘され、巨石が浮き出た状態となる。



H25年11月



H26年8月

③No.13 改良ダム上流 : 改良直後のH22(2010)年12月3日~4日の大雨(24時間雨量156.5mm)で左岸寄りの堆砂面が崩れ、左岸寄りに流路が形成された。その後徐々に左岸寄り流路が本流となり、H25年11月25~26日の大雨で、残っていたやや上流の堆砂面の大部分が洗掘された。



H22年11月 改良直後の右岸寄りの流路



H23年8月 右岸寄りの流路



H25年11月 右岸寄り流路には流水は無い



H26年8月

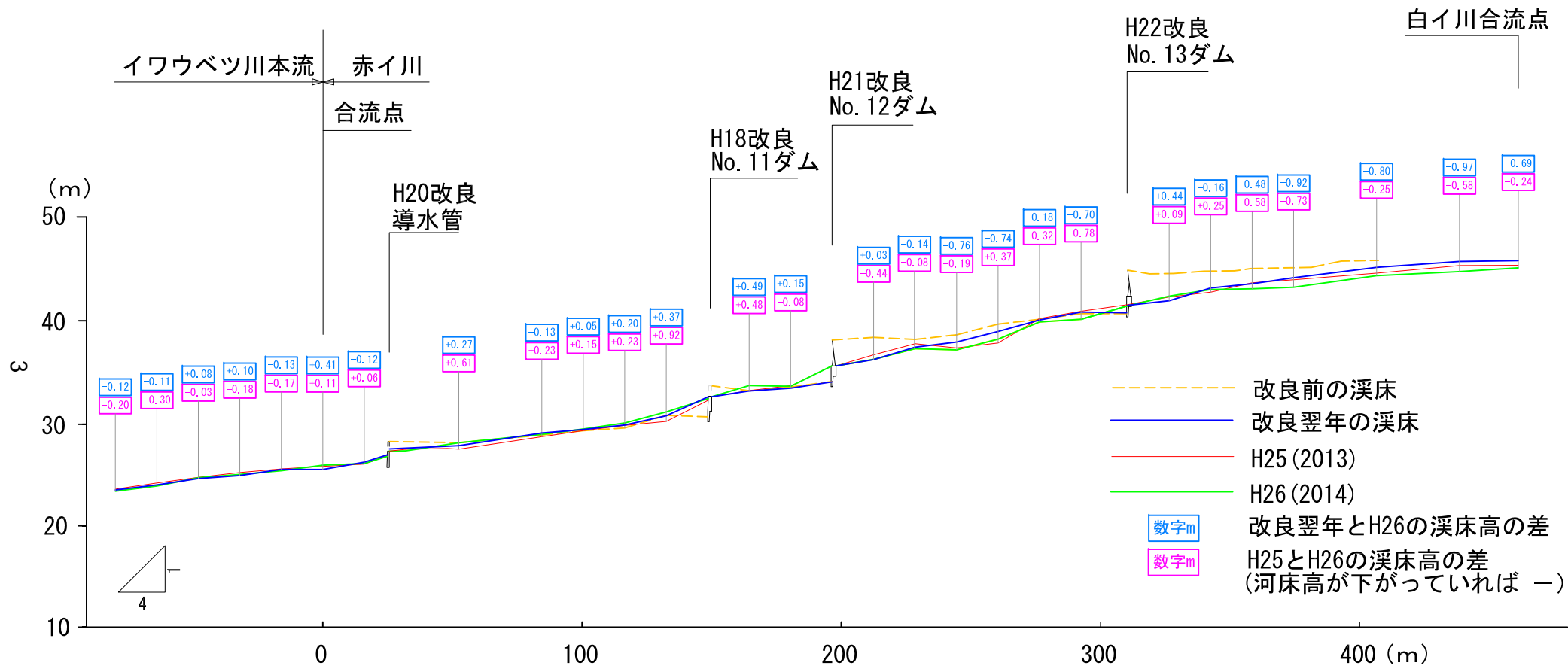


図1 赤イ川の溪床縦断の変化

